

Q.2

サニクリーンとのつながりはいつからですか?

サニクリーンさんとのつながりは、1990年代初頭、協会が主催した展覧会「Earth展」に協賛いただいたことがきっかけです。それから今日までさまざまな取り組みにご支援いただきましたが、中でも「自然しらべ」は2003年以降継続してご支援をいただいています。

「Earth展」に協賛いただいた当時は、環境問題や自然保護に対する意識が社会全体でまだ低い時代でした。そんな中でもサニクリーンさんは環境への意識が高く、当時の担当者さんご自身が当協会の自然観察指導員になるほどだったと聞いています。その熱量は変わることなく、現在も「サニエルおやこネイチャーツアー」などで、多くのお客様から「サニクリーンの自然保護への本気の姿勢を感じた」といった感想をいただいています。



その2 公益財団法人 日本自然保護協会

サニクリーングループでは、公益財団法人 日本自然保護協会と協働で「自然しらべ」「サニエルおやこネイチャーツアー」を開催しています。今回は、日本自然保護協会のお二人にお話を伺いました!



自然のちから推進部
岩橋 大悟さん

志村 智子さん



Q.4

最後にサニクリーン社員の皆さんにメッセージをお願いします!

これまで長い間、協会の活動をご支援いただきありがとうございます。

活動のフィールドは異なりますが、サニクリーンさんと私たちは、「日本を快適にきれいにすること」という志が共通していると思っています。人にも自然にも快適な社会を実現するため、今後も皆さんのお力をお借りできれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

これからもよろしくお願ひします!



Q.3

今後の目標を教えてください!

サニクリーンさんをはじめ、より多くの企業と一緒に社会を変えていきたいです。

私たちは、自然は遠い場所にあるものではなく、人々のライフスタイルとつながっているものだと考えています。そして、「ライフスタイルを作り出す」という大きな役割を担っているのが「企業」です。企業と連携してライフスタイルの在り方を考えていくことは、人と自然にとってより良い社会を生み出す上で避けては通れません。

2015年には持続可能な開発目標 (SDGs) が採択され「経済」「社会」「環境」が一続きに示されたことで、人々の自然保護への関心がより強まったと実感しています。この機会をチャンスとして、これまで以上に企業と力を合わせ、さまざまな自然保護活動を展開したいと考えています。

Q.1

日本自然保護協会とはどのような団体ですか?

日本自然保護協会は、「自然のちからで、明日をひらく。」を理念として自然保護活動を行う、日本最初の自然保護団体です。1949年に「尾瀬保存期成同盟」が結成されたことを皮切りに、現在は20,000名を超える会員や寄付サポーターの方々と共に日本全国で自然保護活動を行っています。活動は、大きく4つの目的で展開しています。

1. 「壊れそうな自然を守る」豊かな日本の自然を未来につなげるための自然保護
2. 「日本の絶滅危惧種を守る」国内約3,600種の絶滅危惧種とその種の生息地の保全
3. 「自然で地域を元気にする」その土地の自然を生かした地域づくり
4. 「自然の守り手を増やす」環境教育、自然保護の普及啓発



2006年からスタートした「サニエルおやこネイチャーツアー」は一般財団法人サニクリーンアカデミー主催、日本自然保護協会が企画・協力する一泊二日の自然体験ツアーです。子どもたちが自然を五感で体感し、その大切さを学ぶことを目的としています。昨年は佐賀県の砂浜・干潟の砂が少なくなっているという背景を踏まえて、干潟体験や清掃活動、生きもの観察などを行いました。

記事はこちらから!



サニエルおやこネイチャーツアー



「自然しらべ」は、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に参加できる「日本の自然の健康診断調査」として1995年から毎年開催されているイベントで、日本自然保護協会の主力活動の一つです。「自然しらべ」は、調査だけにとどまらず、夏にはワークショップを開催するなど「楽しさ」や「学び」の要素も盛り込まれているのが特長です。2019年の「アリしらべ」には、のべ2,201名が参加し、297地点から調査報告が集まりました。調査テーマは「うなぎ」「アリ」「砂浜」とさまざまです。2018年と2019年はヒアリが話題となったことから、「アリしらべ」を実施しました。昨年度より、浜辺の生き物をスマホで撮影すると種別が分かり、その画像を投稿するだけで簡単に自然調査に参加できるスマホアプリとの連携をスタートしました。これまでに「自然しらべ」を手軽にお楽しみいただけること間違いなしです。

記事はこちらから!



自然しらべ

「自然しらべ」は、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に参加できる「日本の自然の健康診断調査」として1995年から毎年開催されているイベントで、日本自然保護協会の主力活動の一つです。「自然しらべ」は、調査だけにとどまらず、夏にはワークショップを開催するなど「楽しさ」や「学び」の要素も盛り込まれているのが特長です。2019年の「アリしらべ」には、のべ2,201名が参加し、297地点から調査報告が集まりました。